



経 由



政務活動費収支報告書

令和8年4月1日

伊豆市長 菊地 豊 様

会 派 名 フロンティア伊豆
代表者氏名 黒須 淳美

伊豆市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第6条第1項の規定に基づき、年度分の政務活動費に係る収支状況を次のとおり報告します。

- 1 交 付 額 900,000円
- 2 支 出 額 558,059円
- 3 収支差引額 341,941円
- 4 経理責任者氏名 青木 靖
- 5 経費の支出明細 令和7年度分政務活動費収支決算書(別添)のとおり
- 6 事業の成果

地元紙のデジタル版購読で地域的话题を確認できた。全国の自治体の情報を情報誌から得ることができた。セミナーに参加することで議員としての基礎から現在の課題解決のための知見まで様々な知識を得ることができた。又、議会活動にAIを活用する方法を知ることができた。議場や委員会室でWiFiを使えるようにしたことでパソコンを活用した効率よい審査ができた。広報誌を発行し、市政の現状や会派の活動を市民の皆様に伝えることができた。

別添（様式第8号関係）

令和7年度分政務活動費収支決算書

フロンティア伊豆

収入

区 分	金 額
交 付 額	¥900,000円

支出

区 分	金 額
1 調査研究費	0円
2 研修費	344,160円
3 資料作成費	0円
4 資料購入費	76,725円
5 要請・陳情活動費	0円
6 会議費	0円
7 広報費	80,080円
8 広聴費	0円
9 事務費	57,094円
10 人件費	0円
計	558,059円

様式第9号 (第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名	フロンティア伊豆			支払番号	2
支 出 金	¥200円				
支 出 科 目	1. 調査研究費	2. 研 修 費	3. 資料作成費	4. 資料購入費	
	5. 要請・陳情活動費	6. 会 議 費	7. 広 報 費	8. 広 聴 費	
	9. 事 務 費	10. 人 件 費			
摘 要	収入印紙代				
支 出 先	スルガ銀行株式会社 修善寺支店	支 出 年月日	令和7年4月1日		
特 記 事 項	スルガ銀行の無利息型普通預金口座開設時に必要な収入印紙代。令和7年4月1日の会派設立に伴う事前準備として、同年3月に支出を行ったものである。				

領収書 銀行 付

№ 415706

②

領 収 証

フロンティア伊豆 様

金 額	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円
						2	0	0	

摘要: 収入印紙代 (含消費税)

年 月 日

上記金額正に領収致しました。
登録番号: T908010100095

スルガ銀行 株式会社
修善寺支店

様式第9号 (第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名	フロンティア伊豆		支払番号	3
支 出 金 額	¥12,485円			
支 出 科 目	1. 調査研究費	2. 研 修 費	3. 資料作成費	④ 資料購入費
	5. 要請・陳情活動費	6. 会 議 費	7. 広 報 費	8. 広 聴 費
	9. 事 務 費	10. 人 件 費		
摘 要	伊豆新聞デジタル 11か月分 (2025年5月～2026年3月)			
支 出 先	株式会社 伊豆新聞本社	支 出 年月日	令和7年4月14日	
特 記 事 項	・1ヵ月1,100円×11ヵ月=12,100円 ・振込手数料(スルガ銀行) 385円 合計 12,485円			

※ 領収書は、宛先、日
この枠より大きい領
両面になっているも
A4判以上の大きさ

ご利用明細 **スルガ銀行**
SURUGA bank

ご来店ありがとうございます。
お取引内容をご確認のうえ、お持ち帰りください。

貼付すること。
うに貼付すること。
って添付すること。

お取引内容 振込	ご利用年月日 070414	ご利用時間 10:20
<small>振込先 (お取引店) (科目) (口座番号)</small>		
お取引店 0681	お取引金額 *12,100	
ATM番号 0010	お取引内訳 万円 千円 百円 十円 千圓 円 0000 *385	
お取引番号 0839	お取引内訳 万円 千円 百円 十円 千圓 円 0000000	
説明コード	お取引元帳残高 *512,221	

静岡銀行 伊東支店 普通 口座番号 [REDACTED]

受取人名 カ) イス* シンフ* ンホンシヤ 様

依頼人名 フロンティアイブ* カイケイ 様
アオキヤシ

電話番号 [REDACTED]

C D 手数料 *U

様式第9号 (第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名	フロンティア伊豆	支払番号	4	
支 出 金 額	¥64,240円			
支 出 科 目	1.調査研究費	2.研 修 費	3.資料作成費	④資料購入費
	5.要請・陳情活動費	6.会 議 費	7.広 報 費	8.広 聴 費
	9.事 務 費	10.人 件 費		
摘 要	情報誌「D-fail」年間購読料			
支 出 先	イマジン出版 株式会社	支 出 年月日	令和7年4月14日	
特 記 事 項	「D-fail」2025年4月号～2026年3月号及び季刊「Beacon」4冊 他 計26部			

※

④

No.

領 収 証 フロンティア伊豆 様

金額

¥64,240



但 自治体情報誌「D-fail」2025年度年間購読料にて

2025年4月14日、上記正に領収いたしました

内 訳

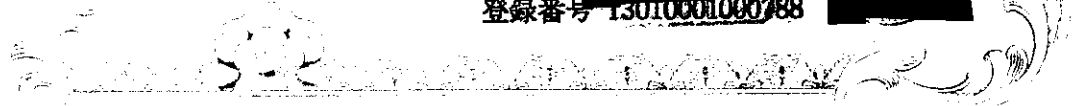
消費税額等(10%) 5,840

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

イマジン出版株式会社

代表取締役

登録番号 13010001090788



支 払 伝 票

会 派 名	フロンティア伊豆		支払番号	5
支 出 金 額	¥8,650円			
支 出 科 目	1.調査研究費	2.研 修 費	3.資料作成費	4.資料購入費
	5.要請・陳情活動費	6.会 議 費	7.広 報 費	8.広 聴 費
	9.事 務 費	10.人 件 費		
摘 要	WiFiルーターレンタル代金			
支 出 先	株式会社 ニッチカンパニー	支 出 年月日	令和7年6月12日	
特 記 事 項	・FreeMax+5G初期費用 3,300円・5月分レンタル料 4,800円 ・安心保守オプション 550円 合計 8,650円			

領収書

伊豆市議会 会派 フロンティア伊豆 御中

発行日: 2025/06/12
領収書番号:1971

合計金額	8,650 円
------	---------

但:Wi-Fiルーターレンタル代金【銀行振込】

2025年6月12日 上記の金額、正に領収いたしました。

小計 8,650円
うち消費税 786円
(内訳)
10%対象 7,864円(消費税 786円)
FreeMax+5G 初期費用
FreeMax+5G ホームルーター 月額料金
安心補償オプション【安心補償フリー】



株式会社ニッチカンパニー
登録番号:T7011001094684
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-8-13
栗原ビル3階
TEL: 03-5937-6860
FAX: 03-5937-6861



様式第9号 (第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名	フロンティア伊豆		支払番号	6
支 出 金 額	¥5,350円			
支 出 科 目	1.調査研究費	2.研 修 費	3.資料作成費	4.資料購入費
	5.要請・陳情活動費	6.会 議 費	7.広 報 費	8.広 聴 費
	⑨.事 務 費	10.人 件 費		
摘 要	WiFiルーターレンタル代金 6月分			
支 出 先	株式会社 ニッチカンパニー	支 出 年月日	令和7年7月18日	
特 記 事 項	・FreeMax+5G ホームルーター 6月分 4,800円 ・安心保守オプション 550円		合計 5,350円	

(6)

領 収 書

伊豆市議会 会派 フロンティア伊豆 御中

発行日: 2025/07/18
領収書番号:2073

合計金額	5,350円
------	--------

但:Wi-Fiルーターレンタル代金【銀行振込】

2025年7月18日 上記の金額、正に領収いたしました。

小計 5,350円
うち消費税 486円
(内訳)
10%対象 4,864円(消費税 486円)
FreeMax+5G ホームルーター 月額料金
安心補償オプション【安心補償フリー】



株式会社ニッチカンパニー
登録番号:T7011001094684
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-8-13
栗原ビル3階
TEL: 03-5937-6860
FAX: 03-5937-6861



様式第9号 (第6条関係)

支払伝票

会派名	フロンティア伊豆	支払番号	7	
支出金額	¥5,350円			
支出科目	1.調査研究費	2.研修費	3.資料作成費	4.資料購入費
	5.要請・陳情活動費	6.会議費	7.広報費	8.広聴費
	9.事務費	10.人件費		
摘要	WiFiルーターレンタル代金 7月分			
支出先	株式会社 ニッチカンパニー	支出年月日	令和7年8月5日	
特記事項	・FreeMax+5G ホームルーター 7月分 4,800円 ・安心保守オプション 550円 合計 5,350円			

領収書

伊豆市議会 会派 フロンティア伊豆 御中

発行日: 2025/08/05
領収書番号: 2154

合計金額 5,350円

但: Wi-Fiルーターレンタル代金【銀行振込】

2025年8月5日 上記の金額、正に領収いたしました。

小計 5,350円
うち消費税 486円
(内訳)
10%対象 4,864円(消費税 486円)
FreeMax+5G ホームルーター 月額料金
安心補償オプション【安心補償フリー】



株式会社ニッチカンパニー
登録番号: T7011001094684
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-8-13
栗原ビル3階
TEL: 03-5937-6860
FAX: 03-5937-6861

⑦

様式第9号 (第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名	フロンティア伊豆	支払番号	8	
支 出 金 額	¥50,000円			
支 出 科 目	1.調査研究費	②研修費	3.資料作成費	4.資料購入費
	5.要請・陳情活動費	6.会議費	7.広報費	8.広聴費
	9.事務費	10.人件費		
摘 要	自治体議会特別セミナーin伊豆の国 受講料 5名分 「議員の資質向上と議会運営」講師 自治体議会研究所 高沖秀宣			
支 出 先	自治体議会研究所	支 出 年月日	令和7年8月5日	
特 記 事 項	・受講料10,000円×5名=50,000円 ・参加者：黒須淳美 小長谷順二 青木靖 浅田藤二 波多野靖明			

領 収 書

黒須 淳美 様

金 10,000 円

上記正に領収いたしました。
ただし、自治体議会特別セミナー受講料として。

令和7年8月5日

自治体議会研究所 (三重県津市白山町二本木545)

代表 高 沖 秀 宣

領 収 書

小長谷 順二 様

金 10,000 円

上記正に領収いたしました。
ただし、自治体議会特別セミナー受講料として。

令和7年8月5日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545
代表 高 沖 秀 宣

領 収 書

青木 靖 様

金 10,000 円

上記正に領収いたしました。
ただし、自治体議会特別セミナー受講料として。

令和7年8月5日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545
代表 高 沖 秀 宣

領 収 書

成田 藤二 様

金 10,000 円

上記正に領収いたしました。
ただし、自治体議会特別セミナー受講料として。

令和7年8月5日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545）
代表 高 沖 秀 宣

領 収 書

波多野 靖明 様

金 10,000 円

上記正に領収いたしました。
ただし、自治体議会特別セミナー受講料として。

令和7年8月5日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545）
代表 高 沖 秀 宣

支 払 伝 票

会 派 名	フロンティア伊豆	支払番号	9	
支 出 金 額	¥5,350円			
支 出 科 目	1.調査研究費	2.研 修 費	3.資料作成費	4.資料購入費
	5.要請・陳情活動費	6.会 議 費	7.広 報 費	8.広 聴 費
	9.事 務 費	10.人 件 費		
摘 要	WiFiルーターレンタル代金 8月分			
支 出 先	株式会社 ニッチカンパニー	支 出 年月日	令和7年9月1日	
特 記 事 項	・FreeMax+5G ホームルーター 8月分 4,800円 ・安心保守オプション 550円 合計 5,350円			

領 収 書

伊豆市議会 会派 フロンティア伊豆 御中

発行日: 2025/09/01
領収書番号: 2183

合計金額 5,350円

但:Wi-Fiルーターレンタル代金【銀行振込】

2025年9月1日 上記の金額、正に領収いたしました。

小計 5,350円
うち消費税 486円
(内訳)
10%対象 4,864円(消費税 486円)
FreeMax+5G ホームルーター 月額料金
安心補償オプション【安心補償フリー】



株式会社ニッチカンパニー
登録番号:T7011001094684

〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-8-13
栗原ビル3階
TEL: 03-5937-6860
FAX: 03-5937-6861



様式第9号 (第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名	フロンティア伊豆	支払番号	10	
支 出 金 額	¥5,350円			
支 出 科 目	1. 調査研究費	2. 研 修 費	3. 資料作成費	4. 資料購入費
	5. 要請・陳情活動費	6. 会 議 費	7. 広 報 費	8. 広 聴 費
	⑨. 事 務 費	10. 人 件 費		
摘 要	WiFiルーターレンタル代金 9月分			
支 出 先	株式会社 ニッチカンパニー	支 出 年月日	令和7年10月1日	
特 記 事 項	・FreeMax+5G ホームルーター 9月分 4,800円 ・安心保守オプション 550円			合計 5,350円

⑩

領収書

伊豆市議会 会派 フロンティア伊豆 御中

発行日: 2025/10/10
領収書番号: 2299

合計金額	5,350円
------	--------

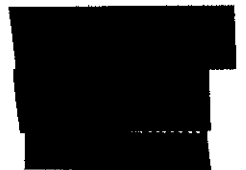
但:Wi-Fiルーターレンタル代金【銀行振込】

2025年10月1日 上記の金額、正に領収いたしました。

小計 5,350円
うち消費税 486円
(内訳)
10%対象 4,864円(消費税 486円)
FreeMax+5G ホームルーター 月額料金
安心補償オプション【安心補償フリー】



株式会社ニッチカンパニー
登録番号:T7011001094684
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-8-13
栗原ビル3階
TEL: 03-5937-6860
FAX: 03-5937-6861



様式第9号 (第6条関係)

支払伝票

会派名	フロンティア伊豆	支払番号	11	
支出金額	¥5,350円			
支出科目	1.調査研究費	2.研修費	3.資料作成費	4.資料購入費
	5.要請・陳情活動費	6.会議費	7.広報費	8.広聴費
	⑨.事務費	10.人件費		
摘要	WiFiルーターレンタル代金 10月分			
支出先	株式会社 ニッチカンパニー	支出年月日	令和7年11月5日	
特記事項	・FreeMax+5G ホームルーター 10月分 4,800円 ・安心保守オプション 550円 合計 5,350円			

領収書

伊豆市議会 会派 フロンティア伊豆 御中

発行日: 2025/11/14
領収書番号: 2489

合計金額 5,350円

但:Wi-Fiルーターレンタル代金【銀行振込】

2025年11月5日 上記の金額、正に領収いたしました。

小計 5,350円
うち消費税 486円
(内訳)
10%対象 4,864円(消費税 486円)
FreeMax+5G ホームルーター 月額料金
安心補償オプション【安心補償フリー】



株式会社ニッチカンパニー
登録番号:T7011001094684
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-8-13
栗原ビル3階
TEL: 03-5937-6860
FAX: 03-5937-6861



支 払 伝 票

会 派 名	フロンティア伊豆	支払番号	12	
支 出 金 額	¥5,350円			
支 出 科 目	1. 調査研究費	2. 研 修 費	3. 資料作成費	4. 資料購入費
	5. 要請・陳情活動費	6. 会 議 費	7. 広 報 費	8. 広 聴 費
	⑨. 事 務 費	10. 人 件 費		
摘 要	WiFiルーターレンタル代金 11月分			
支 出 先	株式会社 ニッチカンパニー	支 出 年月日	令和7年12月4日	
特 記 事 項	・FreeMax+5G ホームルーター 11月分 4,800円 ・安心保守オプション 550円 合計 5,350円			

12

領収書

伊豆市議会 会派 フロンティア伊豆 御中

発行日: 2025/12/19
領収書番号: 2608

合計金額	5,350円
------	--------

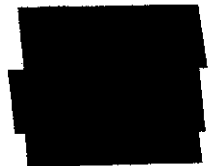
但: Wi-Fiルーターレンタル代金【銀行振込】

2025年12月4日 上記の金額、正に領収いたしました。

小計 5,350円
うち消費税 486円
(内訳)
10%対象 4,864円(消費税 486円)
FreeMax+5G ホームルーター 月額料金
安心補償オプション【安心補償フリー】



株式会社ニッチカンパニー
登録番号:T7011001094684
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-8-13
栗原ビル3階
TEL: 03-5937-6860
FAX: 03-5937-6861



様式第9号 (第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名	フロンティア伊豆		支払番号	13
支 出 金 額	¥45,880円			
支 出 科 目	1. 調査研究費	②. 研 修 費	3. 資料作成費	4. 資料購入費
	5. 要請・陳情活動費	6. 会 議 費	7. 広 報 費	8. 広 聴 費
	9. 事 務 費	10. 人 件 費		
摘 要	伊豆市議会議員向けセミナー受講「地方議員のための生成AI講座」 (フロンティア伊豆負担分) 講師：伊豆市CIO補佐官 中村祥子			
支 出 先	中村 祥子		支 出 年月日	令和7年12月8日
特 記 事 項	・請求額¥110,000円－IZU未来負担分¥45,800円－木村建一議員負担分9,160円－小川多美子議員負担分¥9,160円=¥45,880円 (源泉済)			

領収書 貼付け枠

- ※ 領収書は、宛先、日付、金額、内訳、発行者名が重ならないように添付すること。
 この枠より大きい領収書は、裏面に貼付すること。
 両面になっているものは、全面にのりづけせずに裏面が確認できるように貼付すること。
 A4判以上の大きさを貼り付けるのが適当でないものは、A4判に折って添付すること。

令和7年12月8日生成AI講座の受講費負担について

フロンティア伊豆 代表 黒須淳美

令和7年12月8日に開催したフロンティア伊豆主催の伊豆市議会議員向け「議員のための生成AI講座」の受講費用について、当会派の負担分は下記の通りとなります。

経費の振分等については以下のとおりです。

記

1 フロンティア伊豆 負担分

¥45,880円

110,000円 - (45,800円 + 9,160円 + 9,160円)

総費用 IZU 未来 木村建一 小川多美子

2 講座費用

講師料 ¥110,000円 中村 祥子

(内、源泉徴収税 ¥10,210円)

参加議員一人当たりの費用

110,000円 ÷ 12人 ≒ 9,166円

以上

13

領収書

伊豆市議会 会派 フロンティア伊豆 御中

発行日: 2025/12/08

〒410-2407

伊豆市柏久保1336-2

代表 黒須淳美 様

金額	110,000 円
----	-----------

小計 100,000円

消費税 10,000円

中村 祥子

(内)

源泉徴収税 -10,210円

伊豆市議会議員向けセミナーのご案内

「 議員のための生成 AI 講座 」

講師 伊豆市 CIO 補佐官 中村 祥子

- ・最新の生成 AI は 何が どこまで できるのか
- ・生成 AI を議会で活用する方法
- ・実際に、使ってみよう

日 時 12月8日 (月) 13時30分～15時

場 所 委員会室

参加費 一人 9,160円 の予定 (110,000円÷人数)

- ・議会事務局に相談の上、政務活動費で対応してください

※ パソコンをご持参してください

(幹事会派 フロンティア伊豆 担当 青木)

調査研究等報告書

令和 7 年 12 月 17 日

実施日時	令和 7 年 12 月 8 日 (月) 13 時 30 分 ~ 16 時 00 分
参加者氏名	青木靖、浅田藤二、黒須淳美、小長谷順二、波多野靖明
用務先	伊豆市議会委員会室
対応者 (研修先講師等)	伊豆市CIO補佐官 中村祥子
目的・内容	<p>本研修は、生成AIを議員活動に活用するための基礎理解を深め、実務への導入の第一歩を踏み出すことを目的として実施されました。</p> <p>内容としては、生成AIの基本概念、社会的背景を学ぶとともに、政策立案や広報活動における具体的な活用事例が紹介されました。また、ChatGPTやGeminiを用いた文章作成のほか NotebookLMによる資料要約などの実践作業を通じ、指示の工夫による出力精度向上の重要性について体験することが目的だと感じました。</p>
成果・所感	<p>本研修により、生成AIは「ゼロから作成する」作業を補助して、たたき台の作成や情報整理において大きな効果を発揮するツールであることを認識しました。</p> <p>特に、政策的な検討や一般質問原稿、広報文書の作成においても業務効率化と質の向上が期待できると感じました。</p> <p>一方で、機密情報の取扱いや事実確認、著作権への配慮などの留意点も理解しました。</p> <p>今後は各議員の判断のもと適切に活用を進めるとともに、議会活動全般におけるデジタル活用推進の一環として位置付け、継続的な活用と知識共有を図る必要があると理解しました。</p>

様式第9号 (第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名	フロンティア伊豆	支払番号	14
支 出 金 額	¥180,000円		
支 出 科 目	1. 調査研究費	② 研 修 費	3. 資料作成費
	5. 要請・陳情活動費	6. 会 議 費	7. 広 報 費
	9. 事 務 費	10. 人 件 費	4. 資料購入費
8. 広 聴 費			
摘 要	・地方議員研究会セミナー受講 4講座3名分「議会・議員の未来」 「治水・防災減災の未来」「地域福祉の未来」「学校統廃合の未来」		
支 出 先	株式会社H30((カ)エイチスリーオー)	支 出 年月日	令和7年12月19日
特 記 事 項	・令和8年1月14日,15日開催 ・参加者:小長谷順二、浅田藤二、 波多野靖明 ・一講座¥15,000円×4講座×3名=¥180,000円		

領収書 貼付け枠

- ※ 領収書は、宛先、日付、金額、内訳、発行者名が重ならないように添付すること。
 この枠より大きい領収書は、裏面に貼付すること。
 両面になっているものは、全面にのりづけせずに裏面が確認できるように貼付すること。
 A4判以上の大きさを貼り付けるのが適当でないものは、A4判に折って添付すること。

領収証

2026 年 1 月 14 日

フロンティア伊豆

様

★

¥180,000

但

2026/1/14(水)10時～宮本講師【東京】議会・議員の未来

2026/1/14(水)13時半～宮本講師【東京】治水・防災減災の未来

2026/1/15(木)10時～宮本講師【東京】地域福祉の未来(認知症・介護)

2026/1/15(木)13時半～宮本講師【東京】学校統廃合の未来

3名様 研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042

神奈川県横浜市神奈川区浦島町1-2-1

TEL 050-1089-9835

人口減少時代を生き抜く自治体の4つの決断
昭和の議会から令和の議会へ

人口減少、財源縮小、災害の激甚化、そして認知症と介護の急増——。現実はまだ待ってくれません。にもかかわらず、議会が“昭和の作法”にとどまり、形式的な質疑や前例踏襲を続ければ、意思決定は遅れ、町は静かに壊れていきます。決めるのは市長ではなく議会です。

必要なのは「何を捨て、何に投資し、いつ決めるか」という覚悟ある選択。本セミナーは、議会、治水・防災、地域福祉、学校統廃合の4領域で、取るべき具体策と優先順位を、講師の経験や事例、データと現場感で提示します。明日の質問と政策提案に直結する“決断の材料”を持ち帰ってください。

1/4 水 東京 2/5 木 博多

10:00~12:30 議会・議員の未来

- ・ 「議員いない？」人口減少で問われる議会の存在意義
- ・ 定数・報酬を削って空洞化？議会の本来の活動とは
- ・ AI時代、議員の役割は意思決定と合意形成に回帰する
- ・ 若手・女性不在で代表性崩壊？議会運営の不思議ルール
- ・ 二元代表制の勘違い？市長と議会の関わりと各地の事例

13:30~16:00 治水・防災減災の未来

- ・ 「想定外」が日常になる時代——水害・土砂災害の新常識
- ・ ハザードマップを“動ける情報”に客観的に我が街を見る
- ・ 命を守る治水対策・投資の順番——護岸？内水？遊水？費用対効果で決める
- ・ 防災減災で住民を守る——猛暑・感染症・要配慮者対策
- ・ ドローン・AI・アプリの使いどころ——テクノロジーの限界と現実解

1/5 木 東京 2/6 金 博多

10:00~12:30 地域福祉の未来（認知症・介護）

- ・ 認知症800万人時代——見守り・徘徊・事故をどう減らすか
- ・ 介護保険の持続可能性——負担増とサービス縮小、自治体の打ち手
- ・ 独居高齢者の孤立死を防ぐ——地域の“目”を制度にする
- ・ 家族に押し付けない仕組み——在宅・施設・中間支援の再配置
- ・ 地域包括ケアの実装——机上から現場へ、KPIで回す運用術

13:30~16:00 学校統廃合の未来

- ・ 児童数激減で進む廃校——“町の灯”をどう残すか
- ・ 通学時間と安全のトレードオフ——路線、スクールバス、見守り網
- ・ 統廃合で教育の質は上がるのか——学級規模・教員配置・部活
- ・ 廃校活用の勝ちパターン——医療・福祉・産業・観光への転用
- ・ 議員時代に経験した統廃合の事例と経緯について

みやもと しょういち

宮本 正一 元 寝屋川市議会議員、日本公共経営研究所代表、元 吉野町役場政策アドバイザー

1967年大阪府生まれ。ポストン・ウェントワース工科大学卒業、神戸大学経営大学院でMBA（経営学修士）、大阪市立大学大学院医学研究科で医学博士号（公衆衛生学）を取得。厚生労働省 厚生労働研究「ワクチン疫学研究班」研究員（～2023）、同志社大学生命医科学嘱託講師 担当科目「解剖学概論」（～2023）、吉野町役場政策アドバイザー（～2024）

【著書】「サービス産業経営論（第7章自治体の経営）」（税務経理協会）

平成7年に27歳で寝屋川市議会議員に初当選（無所属）
5期20年間市議会議員（第54期寝屋川市議会議員）
大阪府知事選他、17の選対本部で事務局長
アメリカ大統領選挙も視察（クリントン、トランプ1期目）



調査研究等報告書

令和8年 1月23日

実施日時	令和8年 1月14日 (水) 10時00分～12時30分
参加者氏名	浅田藤二、小長谷順二、波多野靖明
用務先	リファレンス西新宿大京ビル
対応者 (研修先講師 等)	日本公共経営研究所代表 宮本正一
目的・内容	<p>本研修は地方議員に求められる本来の役割を再確認し、議会活動の質を高めることを目的として受講しました。内容は、議会・議員の未来であり、憲法や地方自治法に基づく議会の位置付け、議員に与えられた議決権や監視・評価機能、一般質問の在り方、議会と首長の権限の違いなど、法的ロジックを踏まえた実務的な講義でした。加えて、議員定数や報酬、公共経営の考え方、AI活用による論点整理や政策立案の効率化など、今後の議会運営に直結する幅広い内容について学びました。</p>
成果・所感	<p>今回の研修を通じ、議員の役割は行事参加や要望の仲介にとどまらず、法に基づき行政を監視・評価し、住民意思を反映した意思決定を行うことにありと改めて認識しました。</p> <p>特に、一般質問は単なる提案ではなく、課題追求型で行政を質し、政策の改善につなげる視点が重要であると学びました。</p> <p>また、人口減少や社会変化を踏まえた議会改革、さらにAIを活用した調査・分析の必要性についても理解が深まった。</p> <p>今後は、根拠に基づく質問と提案を意識し、実効性ある議会活動に生かしていきたいと思えます。</p>

調査研究等報告書

令和 8年 1月23日

実施日時	令和8年 1月14日(水) 13時30分～16時00分
参加者氏名	浅田藤二、小長谷順二、波多野靖明
用務先	リファレンス西新宿大京ビル
対応者 (研修先講師等)	日本公共経営研究所代表 宮本正一
目的・内容	<p>本研修は、気候変動の進行により従来の「想定内」を超える豪雨災害が常態化する中で、治水・防災の考え方を見直すことを目的として実施されました。講義では、「想定外が日常となる」時代への対応として、ハザードマップや各種データを活用したリスクの可視化、避難行動の具体化、さらに流域全体での総合的な治水対策の必要性が示されました。加えて、施設整備に加え、情報伝達や住民主体の行動計画、デジタル技術の活用など、ハード・ソフト両面からの対策の重要性について説明がありました。</p>
成果・所感	<p>研修を通じて、これまでの「想定に基づく防災」から「想定外を前提とした防災」へと意識を転換する必要性を強く認識いたしました。</p> <p>特に、ハザードマップやリアルタイム情報を活用し、住民一人ひとりが「いつ、どこへ、どのように避難するか」を具体的に判断できる仕組みづくりの重要性を理解いたしました。また、限られた財源の中で費用対効果を踏まえ、優先順位を明確にした治水対策の選択が求められる点も重要であると感じました。</p> <p>さらに、デジタル技術の活用は有効である一方で、最終的な判断は人が担うべきであり、地域コミュニティの力や日頃の備えの重要性も再認識いたしました。</p> <p>今後は、行政施策に加え、地域住民と連携した実効性の高い防災体制の構築が必要であると考えます。</p>

調査研究等報告書

令和 8年 1月23日

実施日時	令和8年 1月15日(木) 10時00分～12時30分
参加者氏名	浅田藤二、小長谷順二、波多野靖明
用務先	リファレンス西新宿大京ビル
対応者 (研修先講師等)	日本公共経営研究所代表 宮本正一
目的・内容	<p>急速な高齢化の進展や認知症高齢者の増加を背景に、地域福祉のあり方と今後の対応について理解を深めることを目的として実施されました。特に、2040年には高齢者人口の増加や介護人材不足、認知症高齢者の増加が見込まれるなど、地域社会に大きな影響を与える課題が示されました。講義では、こうした課題に対し、医療・介護・福祉・予防・住まいを一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の重要性や、住民・行政・民間企業が連携した支え合いの仕組みづくりについて具体的な事例を交えて説明がありました。</p>
成果・所感	<p>本研修を通じて、地域福祉は行政だけで担うものではなく、住民や民間企業を含めた地域全体で支える仕組みが不可欠であることを改めて認識いたしました。</p> <p>特に、認知症高齢者の増加や家族介護の負担の深刻化など、身近な課題が今後さらに顕在化する中で、早期の見守り体制や地域でのつながりづくりの重要性を強く感じました。</p> <p>また、地域包括ケアシステムの実現には、医療・介護・福祉の連携だけでなく、デイサービスや見守り活動など中間的な支援の充実が鍵であると理解いたしました。</p> <p>今後は、地域の実情に応じた支援体制の構築とともに、住民主体の取り組みを促進し、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを進めていく必要があると考えます。</p>

調査研究等報告書

令和 8年 1月23日

実施日時	令和8年 1月15日(木) 13時30分 ~16時00分
参加者氏名	浅田藤二、小長谷順二、波多野靖明
用務先	リファレンス西新宿大京ビル
対応者 (研修先講師等)	日本公共経営研究所代表 宮本正一
目的・内容	<p>少子化の進行に伴う児童生徒数の減少を背景に、学校統廃合の現状と課題、今後の教育環境のあり方について理解を深めることを目的として実施されました。特に、児童数の減少により小規模校が増加する中で、教育の質の確保や集団活動の機会確保が課題として挙げられました。講義では、適正な学校規模の考え方や、統廃合に伴う通学距離の増加、地域コミュニティへの影響などについて具体的に説明がありました。また、単なる統合ではなく、小中一貫教育や地域と連携した学校づくりなど、新たな教育モデルの可能性についても示されました。</p>
成果・所感	<p>研修を通じて、学校統廃合は単なる効率化ではなく、子どもたちの教育環境をどう維持・向上させるかという視点が最も重要であると認識いたしました。</p> <p>特に、小規模校にはきめ細かな指導ができるという利点がある一方で、集団活動や多様な人間関係の形成に制約があることから、バランスの取れた検討が必要であると感じました。</p> <p>また、統廃合は地域コミュニティの衰退にも直結するため、学校を核とした地域のあり方をどう維持するかが大きな課題であると理解いたしました。</p> <p>今後は、地域住民の理解を得ながら、通学手段の確保や跡地活用なども含めた総合的な視点で検討を進めるとともに、子どもたちにとって最適な教育環境の実現に向けた取り組みが求められると考えます。</p>

様式第9号 (第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名	フロンティア伊豆		支払番号	15
支 出 金 額	¥5,350円			
支 出 科 目	1. 調査研究費	2. 研 修 費	3. 資料作成費	4. 資料購入費
	5. 要請・陳情活動費	6. 会 議 費	7. 広 報 費	8. 広 聴 費
	⑨. 事 務 費	10. 人 件 費		
摘 要	WiFiルーターレンタル代金 12月分			
支 出 先	株式会社 ニッチカンパニー		支 出 年月日	令和8年1月7日
特 記 事 項	・FreeMax+5G ホームルーター 12月分 4,800円 ・安心保守オプション 550円 合計 5,350円			

15

領収書

伊豆市議会 会派 フロンティア伊豆 御中

発行日: 2026/01/15
領収書番号: 2734

合計金額	5,350 円
------	---------

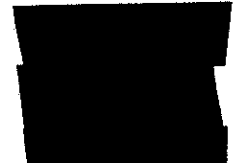
但: Wi-Fiルーターレンタル代金【銀行振込】

2026年1月7日 上記の金額、正に領収いたしました。

小計 5,350円
うち消費税 486円
(内訳)
10%対象 4,864円(消費税 486円)
FreeMax+5G ホームルーター 月額料金
安心補償オプション【安心補償フリー】



株式会社ニッチカンパニー
登録番号: T7011001094684
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-8-13
栗原ビル3階
TEL: 03-5937-6860
FAX: 03-5937-6861



様式第9号 (第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名	フロンティア伊豆	支払番号	16
支 出 金 額	¥28,980円		
支 出 科 目	1. 調査研究費	② 研 修 費	3. 資料作成費
	5. 要請・陳情活動費	6. 会 議 費	7. 広 報 費
	9. 事 務 費	10. 人 件 費	4. 資料購入費
8. 広 聴 費			
摘 要	研修交通費 (修善寺～三島～東京～西新宿：往復×3名分)		
支 出 先	伊豆箱根鉄道、東京メトロ	支 出 年月日	令和8年1月13日
特 記 事 項	・550円+4,070円+210円=4,830円 ・4,830円×2 (往復) =9,660円 ・9,660円×3名分=28,980円 合計 28,980円		

領 収 証

No. A 010471

2026年1月13日

伊豆フロンティア 様

金 額				¥	2	7	7	2	0
-----	--	--	--	---	---	---	---	---	---

上記金額正に領収いたしました。(現金・クレジットカード・その他 ())

但し乗車券、特急券代として

※左記は食料品代(軽減税率対象)含む

収 入
(50,000円以上)
印 紙

登録番号 T9-0801-0100-5353

三島市大場300番地

伊豆箱根鉄道株式会社

【内訳】

標準税率	税込金額	¥27,720
10%対象	消費税額	¥
軽減税率	税込金額	¥
8%対象	消費税額	¥

静岡県伊豆市柏久保631-7

伊豆箱根鉄道株式会社

修善寺駅

電話0558-72-0667

取扱者

※ 領収印の無いもの、金額を訂正したものは無効です。

※ 東京メトロ分 210円×2(往復)×3名分=1,260円 領収書無し

様式第9号 (第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名	フロンティア伊豆		支払番号	17
支 出 金 額	¥39,300円			
支 出 科 目	1. 調査研究費	② 研 修 費	3. 資料作成費	4. 資料購入費
	5. 要請・陳情活動費	6. 会 議 費	7. 広 報 費	8. 広 聴 費
	9. 事 務 費	10. 人 件 費		
摘 要	・研修宿泊費 (地方議員研究会セミナー受講)			
支 出 先	・株式会社西部不動産	支 出 年月日	令和8年1月14日	
特 記 事 項	・新宿プリンスホテル ¥13,100円×3名分 = ¥39,300円 (小長谷順二、浅田藤二、波多野靖明)			

領 収 証
RECEIPT

AF No 008396

伊豆フロンティア様

2026年1月14日

下記の金額正に領収いたしました。

[現金・クレジットカード・振込・その他 ()]

)) 宿泊代として

金額(税込)

¥ 39,300

- 上記は食料品代 (軽減税率対象) 含む
 左記領収額には別紙明細料金を含む

収 入
印 紙

【内 訳】

標準税率	税込金額	¥	39,300
10%対象	消費税額	¥	3,572
軽減税率	税込金額	¥	
8%対象	消費税額	¥	
	(宿泊税)	¥	
課税対象外	()	¥	
	()	¥	
その他領収額※	¥		
(内、免税事業者領収額)	¥		

SEIBU PRINCE HOTELS & RESORTS

株式会社 西武不動産

新宿プリンスホテル

〒160-8487 東京都新宿区西新宿1-1-1

TEL: 03-3205-1111 FAX: 03-3205-5211

登録番号: T5013301022046

係名

※「その他領収額」の税率別の消費税額等は、別紙明細をご参照ください

様式第10号 (第6条関係)

調査研究等旅費明細

会 派 名	フロンティア伊豆				
参加者氏名	小長谷順二、浅田藤二、波多野靖明			支出科目	2
実 施 日	令和8年1月14日～令和8年1月15日			支払番号	16 17
用 務 先	東京都新宿区 リファレンス西新宿大京ビル、新宿プリンスホテル				
目 的	地方議員研究会セミナー受講 (令和8年1月14日～15日の二日間)				
概 算 額		精 算 額		差 引 額	
68,280円		68,280円		0円	
月日	発 着	路 程	路 線	運 賃	宿泊料
1/14	修善寺～三島	19.8km	駿豆線	550×3=1,650円	1泊目 (甲)・乙)13,100円 2泊目 (甲・乙)円 13,100円×3名 分=39,300円
1/14	三島～東京	120.7km	JR新幹線	4,070×3=12,210円	
1/14	東京～西新宿	8.7km	丸の内線	210×3=630円	
1/15	西新宿～東京	8.7km	丸の内線	210×3=630円	
1/15	東京～三島	120.7km	JR新幹線	4,070×3=12,210円	
1/15	三島～修善寺	19.8km	駿豆線	550×3=1,650円	
	～				
	～				
	～				
	～				
概 算 額			/	28,980円	39,300円
精 算 額				28,980円	39,300円
過 不 足 の 理 由					
備 考					

支 払 伝 票

会 派 名	フロンティア伊豆		支払番号	18
支 出 金 額	¥5,350円			
支 出 科 目	1.調査研究費	2.研 修 費	3.資料作成費	4.資料購入費
	5.要請・陳情活動費	6.会 議 費	7.広 報 費	8.広 聴 費
	9.事 務 費	10.人 件 費		
摘 要	WiFiルーターFreeMax+5G レンタル料 令和8年1月分			
支 出 先	(株)ニッチカンパニー		支 出 年月日	令和8年2月10日
特 記 事 項	ホームルーター 令和8年1月分		4,800円	
	安心保障オプション		550円	
	計		5,350円	

18

領 収 書

伊豆市議会 会派 フロンティア伊豆 御中

発行日: 2026/02/17
領収書番号: 2861

合計金額	5,350円
------	--------

但:Wi-Fiルーターレンタル代金【銀行振込】

2026年2月10日 上記の金額、正に領収いたしました。

小計 5,350円
うち消費税 486円
(内訳)
10%対象 4,864円(消費税 486円)
FreeMax+5G ホームルーター 月額料金
安心補償オプション【安心補償フリー】



株式会社ニッチカンパニー
登録番号:T7011001094684
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-8-13
栗原ビル3階
TEL: 03-5937-6860
FAX: 03-5937-6861



支 払 伝 票

会 派 名	フロンティア伊豆		支払番号	19
支 出 金 額	¥5,350円			
支 出 科 目	1. 調査研究費	2. 研 修 費	3. 資料作成費	4. 資料購入費
	5. 要請・陳情活動費	6. 会 議 費	7. 広 報 費	8. 広 聴 費
	9. 事 務 費	10. 人 件 費		
摘 要	WiFiルーターFreeMax+5G レンタル料 令和8年2月分			
支 出 先	(株)ニッチカンパニー		支 出 年月日	令和8年3月5日
特 記 事 項	ホームルーター 令和8年2月分		4,800円	
	安心保障オプション		550円	
	計		5,350円	

19

領 収 書

伊豆市議会 会派 フロンティア伊豆 御中

発行日: 2026/03/19
領収書番号: 2984

合計金額	5,350 円
------	---------

但: Wi-Fiルーターレンタル代金【銀行振込】

2026年3月5日 上記の金額、正に領収いたしました。

小計 5,350円
うち消費税 486円
(内訳)
10%対象 4,864円(消費税 486円)
FreeMax+5G ホームルーター 月額料金
安心補償オプション【安心補償フリー】



株式会社ニッチカンパニー
登録番号: T7011001094684
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-8-13
栗原ビル3階
TEL: 03-5937-6860
FAX: 03-5937-6861



支 払 伝 票

会 派 名	フロンティア伊豆		支払番号	20
支 出 金 額	¥80,080円			
支 出 科 目	1. 調査研究費	2. 研 修 費	3. 資料作成費	4. 資料購入費
	5. 要請・陳情活動費	6. 会 議 費	⑦ 広 報 費	8. 広 聴 費
	9. 事 務 費	10. 人 件 費		
摘 要	会派通信 (広報) 印刷代及び新聞折込手数料			
支 出 先	(有)修善寺印刷所	支 出 年月日	令和8年3月27日	
特 記 事 項	会派通信A4両面6950枚印刷、市内新聞店配達先新聞折り込み			

(20)

領 収 書

伊豆市議会

令和8年3月27日

会派フロンティア伊豆様

¥ 80,080

但し 印刷代として 消費税額(10%) 込

上記の金額正に領収致しました

パンフレット・カタログ・宣伝広
包装紙・ポスター・ハガキ類・

有限
会社

修善寺印刷所

静岡県伊豆市修善寺704-2

TEL <0558> 72-0524(代)

FAX <0558> 72-0557

登録番号 T7080102008282

現金	✓
振込	
小切手	



200円



未来を切り拓く フロンティア伊豆 伊豆市議会会派通信

創刊号 2026.04

会派長 黒須 淳美

TEL: [REDACTED]

春暖の候、皆様方におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。
伊豆市は市制施行から 20 年以上が経過し、合併した市町が特別に使える有利な財源措置も終わり、それにあわせて合併後のまちづくりのための大型事業もひと段落した感があります。これからは、守るべきは守り、人口減少・高齢化等の現状に適応して生き残ること、必要なインフラをしっかりと改良しながら快適で暮らしやすい伊豆市にするための挑戦を同時に進めていく必要があると思います。

伊豆聖苑・ピュアプラザ・クリーンセンターいず・リサイクルセンター、修善寺駅・牧之郷駅、ふらっと月ヶ瀬・天城こども園・なかいずこども園・修善寺東こども園、土肥義務教育学校・伊豆中学校、ひなた公園、津波避難複合施設・危機管理センター、修善寺温泉駐車場整備・道の駅伊豆月ヶ瀬、市役所窓口業務等の包括外部委託、…等々他にも様々やってきました。次は、上下水道事業の見直しかと思えます。

私たちの税金が、正しく有効に使われるように、しっかり働いてまいります。

青木 靖



令和 8 年度予算要望活動

上下水道料金の見直しと今後の事業運営

伊豆市では、上下水道料金を令和8年度中に見直す方針で進めており現在、伊豆市上下水道事業審議会で持続的なサービス提供を可能にする適正な使用料のあり方について答申の取りまとめが進められています。

議会での質疑に対し、審議会の答申を受けた後、6月議会に給水条例及び下水道条例の改定案を上程し、議決を経て、9月議会に補正予算を提出する予定であるとの説明がありました。

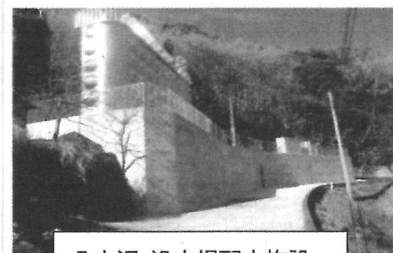
補正の内容としては、基本的に料金改定に伴う事業収益の増加を見込む一方で、施設の状況に応じて必要な事業費の増加も検討していくとのことでした。

また、今後の事業の方向性として、水道事業では施設の

統廃合や給水系統の見直しによる経費削減を進めながら、浄水場、配水池、石綿管や老朽管の更新工事を進める方針が示されました。下水道事業についても、区域の見直しや広域化による経費削減を図りながら、処理場の耐震補強や老朽管の更新工事を進めていくとの事です。

経営状況は、水道事業の経常収支比率が令和6年度で約 82%、下水道事業は 84%とともに 100%を下回る厳しい状況が続き、料金改定を見込まなければ必要な更新や整備への対応が難しい状況でさらなる議論が必要となります。

波多野靖明



八木沢 浄水場配水施設

旧天城中学校 小山緑志会(製材業)に減額譲渡

旧天城中学校の売却基準価格(不動産鑑定額)は、土地・建物合わせて 2 億 8,289 万 5,300 円でしたが、校舎等の解体費用を差し引き、1 億 3,000 万円での譲渡が決定されました。

選定の経緯としては、地域産業の振興や雇用の活性化を目的に、売却を前提としたプロポーザル公募を実施しましたが、応募は小山緑志会の 1 社のみでした。

事業者の提案内容は林業を軸とした事業であり、伊豆市の森林施策や林業振興の方針と合致していました。また、市内製材業者との競合についても、当該事業が製材および卸業であることから、小売を主とする地元業者との競合は生じないことが確認されました。

市民説明会では、製材工場稼働時の営業時間や機械騒音、大型トラックの搬入経路や通行台数など、生活環境への影響を懸念する声がありました。これに対し事業者からは、住宅地を避けた車両運行、騒音の基準値内管理、周辺環境への配慮と対策に努めるとの説明がありました。さらに、転売防止を目的に「買戻し特約」を付し、契約後 10 年間は所有権移転や用途変更を制限することで、適正な運用が図られることを確認しました。

3月6日に現地を視察し委員会で議員間討議の議論を経て本会議に於いて承認しました。

小長谷順二



売却される旧天城中学校

施政方針を受けて フロンティア伊豆 会派代表質問 3月11日



浅田藤二質問 第3次総合計画を着実に進める中で、テーマを「守りながら 変わり続けるまち伊豆市」とし、新年度予算のキャッチフレーズは「伊豆の未来に、今、投資する予算」と命名。「守る」と「変わる」にわけ、これからのまちづくりの方針示されました。

以下の3項目について市長に伺います。

1. 伊豆市の未来を担う子どもたちのために現在から未来へ何を投資しようとしていますか。
2. 観光客や移住者は都会にない非日常を伊豆市に求めています。総合計画に盛り込まれたまちの「形」は、効率よく便利に暮らすネットワーク型コンパクトタウンになりました。
このギャップをどのように考えていますか。
3. 土木、水道事業に関して、競争が原則だとよく聞きますが、「防災」、「市内経済の循環」という観点からは、もうそんな時代じゃない、いかに市内にいてもらえるか、市民を守っていただけるかの発想に変えなければいけないと思っていますが、ご所見をお伺いします。

黒須淳美質問 令和8年度を迎えるにあたり、「これまでと最も大きく変わった施政方針になったものと確信しています」と述べられました。施政方針の2「変わる」から、以下の3項目について伺います。

4. 教育環境の整備

「変わり続ける」事業の筆頭として挙げられた教育環境整備について、修善寺地区の小学校再編に向けての進捗状況と、幼児教育における職員の負担軽減への対応策は？

5. 人口減少対策

空き家の確保と活用は伊豆市の未来を左右する重要な施策との認識を示されました。促進のための所有者への支援策など移住につなげる施策は？

6. 「守りながら 変わり続けるまち 伊豆市」について

「新たな伊豆市のかたちのなかに魂を込めていくのは職員と市民の役割です」というビジョンをどのように進めますか？

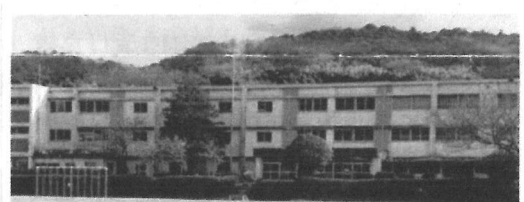
1. 答弁 1つ目に豊かな自然や歴史への誇りと次世代へつなぐ「人」への投資。2つ目に市民の生命と財産を守り抜く「安全」への投資。3つ目に時代の変化に柔軟に対応する「変革」への投資。これにより、活気に満ち、いつまでも住み続けたいと思える持続可能なまちの実現に向け礎を築いてまいります。

2. 答弁 ギャップを矛盾ではなく「二つの価値をどう両立させるか」という政策課題ととらえ、持続可能な地域経営を進めてまいりたいと思います。

3. 答弁 市内経済の循環はもとより、災害対応であるとか地域の社会インフラの維持に市内業者の協力というのは、不可欠ですので今後も市内事業者の受注機会の確保に努めてまいります。



「だるま山レストハウス」からの駿河湾と富士山



築62年 市内で一番古い校舎の修善寺小学校

4. 答弁 修善寺地区小学校の再編については、今年度中に再編の方針を固め、令和8年度には、地域や保護者の理解を得ながら丁寧に進めてまいります。また休日保育については、保育士の負担が大きかったことから、利用者の声を踏まえた上で、令和8年度から実施方法を変更することとしました。

5. 答弁 空き家バンクへの登録や処分する際の補助金の周知、空き家を活用することのメリットなどを発信してまいります。進め方については、納税通知書にチラシを同封し制度の周知を図ります。

6. 答弁 伊豆市の将来の姿は自分たちで決めるという強い意志を持ち続けることだと考えています。職員と市民が意識を変え、地域づくり協議会などを通じてまちづくりを進めるという体験を積み重ねていただくことを強く期待しています。